

第12回「春・朗読の一日」

●日 時 4月22日(日) 10:00～16:00

●会 場 緑のホール・研修室

入場無料

「春・朗読の一日」は自分たちのスタイルで表現する朗読を行い、参加者全員で楽しむ催しです。この機会にぜひ文化の森へお集まりいただき、朗読三昧の一日を味わってください。



昨年の様子

■ かるちすくらぶ入会のご案内 ■

みのかも文化の森と美濃加茂市文化会館には共通の友の会「かるちすくらぶ」があります。このくらぶに入会すると、文化の森や文化会館の催しの案内がご自宅まで届いたり、文化会館自主事業のチケットを早く予約することができるなど、特典が盛りだくさんです。この機会にぜひご入会ください。

●主な特典

- ①市民ミュージアム企画展(年4回程度)の観覧料無料(押印するスタンプは1企画展につき、一度までです)
- ②文化会館の自主事業入場料の割引(一割程度)、指定券先行予約
- ③「ミュージアムニュース」「文化会館だより」(ともに年4回)の送付
- ④地域ゆかりの作家による限定版「カレンダー」をプレゼント
- ⑤友の会入会時に、文化の森ティールーム「ベリー」の呈茶券をプレゼント
- ⑥会員証の裏面はスタンプカードになっています。スタンプ6個で文化の森ティールーム「ベリー」の呈茶券をプレゼント(スタンプは文化会館自主事業のチケット購入時に2個、市民ミュージアム企画展観覧時に1個押印します)

●会費 年間1,200円

●お申し込み方法

みのかも文化の森、美濃加茂市文化会館にある申込用紙に必要事項をご記入の上、会費を添えてお申し込みください。

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム

MINOKAMO CITY MUSEUM
〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

■ご利用のご案内

開館時間 9:00～17:00
(ただし、展示以外の施設利用は22:00まで)
休館日 月曜日・第4火曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)、年末年始

文化の森ギャラリー2012



山内亮典 untitled, 2011

●会 期 4月28日(土)～30日(月)

●会 場 文化の森敷地内野外

観覧無料

文化の森の敷地内の森にギャラリーをいくつもオープンさせ、その中で作家達が作品を展示します。

森のコンサート きそがわ日和2012春企画
「Sound on Film」

●日 時 5月12日(土)、13日(日) 18:30～21:00 (17:30開場)

●会 場 生活体験館「まゆの家」

●入場料 2,500円(前売)、2,800円(当日) 菓子・ドリンク付、未就学児入場不可
前売券は3/25より文化の森(電話予約可)と きそがわ日和実行委員会(メール予約可)で販売いたします。
※きそがわ日和実行委員会 info@kisogawa-biyori.com

映画が発明された1895年。当時は無声映画に音楽の生演奏をつけたものが上映されていました。100年前の映画館を2夜限定でミュージアム内に再現させます。

■3月・4月・5月・6月の休館日
3月26日、27日 4月2日、9日、16日、23日、24日
5月1日、7日、14日、21日、22日、28日 6月4日、11日、18日、25日、26日

■交通
鉄 道／JR名古屋駅より美濃太田駅まで特急で約40分、駅北口より徒歩約17分
自 動 車／東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

■あい愛バス
JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(約8分)
平 日／平成記念公園線(1日2～3往復)
土日祝日／文化の森公園線(1日10往復)
運 賃／一般 200円 小中学生 100円 未就学児無料
時 刻 表／詳しくは、美濃加茂市ホームページをご覧ください



MUSEUM NEWS

vol.65

みのかも文化の森

2012年 3/25発行



森

の観察日記 15

タネツケバナの仲間

漢字にすると「種漬花」。この花が咲くころに、稲の種粃(たねもみ)を水につけることから名づけられています。白い小さな花をつけますが、この種類はたくさんあり、文化の森にも数種類生えています。葉の形や茎の毛の有無などにより区別できます。文化の森の中、日当たりのよい場所に生えています。



BUNKANOMORI EXHIBITION !

高橋余一「生活絵巻」展
～暮らしのありかを思い出す～

●会 期 4月14日(土)～6月3日(日)

会期中の休館日 4月16日、23日、24日 5月1日、7日、14日、21日、22日、28日

ミュージアムトーク 4月15日(日)、5月18日(金)① 11:00～ ② 14:00～
当館学芸員が展示解説を行います。(各回30分程度)

●会 場 企画展示室

観覧無料



「生活絵巻」より米掲き

高橋余一^{いっし}の描いた「生活絵巻」は、明治期から昭和期にかけて加茂郡古井村^{こい}(大正13年からは古井町、現・美濃加茂市)に暮らした人々の日常をシンプルな画風で描いたものです。余一の死後、遺族によって絵巻に仕立てられ、1993年(平成5年)には貴重な記録資料として美濃加茂市指定有形文化財に指定されました。

高橋余一は、1898年(明治31年)古井村に生まれました。若い頃、大阪に出て簿記学校へ通うかたわら、京都の絵画塾で日本画を学びました。帰郷後は小学校の代用教員や会社勤めをします。定年退職後、病に倒れ自宅療養生活を送ることになります。医者に散歩をすすめられ、町内を歩くうちにふるさとの暮らしや文化をのこした

いという気持ちを強くします。そして自らの記憶をたどり得意だった絵で記録し続けました。

「生活絵巻」は、農業や養蚕をはじめとする生業、祭りや年中行事、時代の流行もの、さまざまな習俗の有様が自然な構図でとらえられ、淡い彩色で仕上げられています。添えられた文とともに「記憶」の遺産として歴史的な価値が極めて高いものです。

高度成長期とともに消えていった古井の日々の風景が「生活絵巻」にはあります。本展では、失くしてはならないものを伝えようとした余一の心にふれていただき、余一のそして私たちにとっての「暮らしのありか」を探していただければ幸いです。

forum & event

	●日時	●会場	●内容
ミュージアムフォーラム 「『生活絵巻』と人々の暮らし」	5月26日(土) 13:30～15:00	研修室	明治期から昭和期の人々の暮らしが描かれる「生活絵巻」を、記録資料の側面から読み解きます。 講師:岐阜大学教育学部 伊東 久之教授 参加料:無料 定員:42名 当日受付(30分前より)
ミュージアムイベント 「道草 余一の見た風景」	5月19日(土) 13:30～15:00	美濃加茂市 川合地区ほか (現地集合、解散)	「生活絵巻」に登場する場所を歩いて巡ります。 参加料:無料 定員:20名 申し込み方法:事前申し込み[4/21(土)～5/6(日)]
ミュージアムイベント 特別講座「端午の節句を祝う」	4月21日(土) 10:00～13:00	生活体験館	かつての暮らしに見られた端午の節句を体験します。鯉のぼりを立て、ヨモギとショウブを屋根にふきます。ちまきを作ります。 参加料:300円 定員:20名 持ち物:エプロン、三角巾 申し込み方法:事前申し込み[3/24(土)～4/8(日)]



事前申し込みについて

はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申込専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。 ■電話、FAXによる受付は行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。

イベント

minokamo city museum

●日時	●名称	●会場	●参加料	●定員	●内容
4/21(土) 14:00～15:00	第116回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「モノレールねこ」加納 朋子/作 「よもぎ苦いか、しょっぱいか」重松 清/作
5/19(土) 14:00～15:00	第117回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「うた時計」新美 南吉/作 「幸福の情景」佐藤 愛子/作
5/19(土) ↓ 8/26(日)	収蔵品展 蚕とまゆ展	民具展示館 生活体験館(まゆの家)	—	—	この地域は古くより養蚕が盛んでした。 蚕とまゆの生育と、その道具の使われ方を紹介します。
5/20(日) 14:00～16:00	第13回 逍遙フォーラム	緑のホール	500円	120名	朗読劇について考えてみたいと思います。 【第1部】朗読劇「リア王」 出 演:シアターウィークエンド 松本喜臣 ほか 【第2部】対談「朗読劇の演出」 近江 誠氏(南山短期大学名誉教授) 松本喜臣氏(シアターウィークエンド代表)
6/16(土) 14:00～15:00	第118回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「ひとりコント 楠美津香の東京美人百景」より 楠 美津香/作 「驟り雨」藤沢 周平/作

四季を食べる講座

minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。

	●開催日	●名称	●内容	●申し込み方法
会 場:生活体験館 時 間:10:00～13:00 定 員:20名 参加料:5/ 8、20→各回300円 6/17、24→600円 持ち物:エプロン、三角巾	5/ 8(火)	道ぶしん料理	アスファルトじゃなかった頃の道路は町内で集まり清掃や整備をしていました。作業後は会食です。	当日受付 (30分前より)
	5/20(日)	田植ぼち	「ぼちがないと てったえんわ」とお手伝いを頼んだご近所さんから言われるほど田植えに必要なお餅です。	
	6/17(日)	梅・塩漬けと じゃがいも料理(1)	梅干しの作り方を1から伝承します。これで今年は梅干しを失敗なく作れるはず!? 2回続きの講座です。	事前申し込み 〔5/ 8(火)～5/23(水)〕 ※2日両日参加できる人
	6/24(日)	梅・しそ漬けと 梅料理(2)		

アートな1日講座

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
4/29(日) 13:00～16:00	アートボランティア企画 カラフルキッチントレー	モザイクの技法でつくる色鮮やかなキッチントレーです。 持ち物:エプロン、タオル	当日受付 (30分前より)	エントランス ホール	500円	15名
5/27(日) 13:00～16:00	銅版画	銅の板に絵を描いて、腐食させて版を作り、プレス機で印刷します。 持ち物:エプロン、タオル		陶芸室 工芸室	700円	20名
6/17(日) 13:00～16:00	陶芸	手びねりの技法またはろくろで簡単な器を作ります。出来上がった器は後日お渡しします。 (送付の場合別途有料) 持ち物:エプロン、タオル		陶芸室	1000円	20名

ていねいな暮らし講座

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
4/21(土) ↓ 5/ 5(土)	年中行事 鯉のぼり立て	鯉のぼりを立て、ショウブとヨモギを屋根にふきます。	—	生活体験館	—	—
5/ 3(木) 9:30～12:00	お茶摘み	お茶の葉をつんで、番茶を作ります。(雨天中止)	当日受付 (30分前より)	生活体験館	100円	20名
6/ 9(土) 10:00～12:00	真綿づくり	カイコのまゆから真綿を作ります。 真綿の用途を知ります。 持ち物:タオル	当日受付 (30分前より)	生活体験館	200円	20名

のんびり自然観察会2012

minokamo city museum

今年ものんびり観察を行います。子どもも大人もOK!ぜひ親子でご参加ください。 ※内容は変更する場合があります。雨天中止。

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
第1回 5/26(土) 10:00～12:00	花の不思議	雄花と雌花はどうしてあるの? 生きるための植物の知恵を雄花・雌花の観察や、花粉の観察を通して考えます。	事前申し込み 〔3/15(木)～4/15(日)〕	陶芸室	各回100円	15名
第2回 6/23(土) 10:00～12:00	文化の森 自然ビンゴ	ビンゴシートをもって、森の中で探し物をしてみよう!				
第3回 10/27(土) 10:00～15:00	クズからでんぷん	クズやヤマノイモなどの根からでんぷんをとってみます。				
第4回 12/15(土) 10:00～12:00	地層の中の化石を観察しよう	地層の中に含まれている化石を観察します。		市内		
第5回 1/26(土) 10:00～12:00	木のまさつ	木をこすり合わせて、火を起こします。		陶芸室		
第6回 日程未定	みんなで考える観察会	参加者の皆さんと相談した内容で観察会を行う予定です。		未定		

定期講座

minokamo city museum

■申し込み宛先 〒505-0004 美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1 みのかも文化の森「定期講座」係 ※希望講座を必ずご記入下さい

■支払いについて 受講料は、受講日にお支払いください。(「声のドラマ」の会は受講日初日に全額)

●名称・内容	●日時	●申し込み方法	●会場	●受講料	●定員
「声のドラマ」の会 13期生 ----- 朗読の基礎からはじめ、ドラマティックリーディングを勉強します。	6/16(土)、7/21(土) 8/18(土)、9/15(土) 10/20(土)、11/17(土) 15:30～17:30	4/22(日) 締め切り	会議室	6,000円	10名
大人ののための観察会 植物コース ----- 美濃加茂の各地区の自然をめぐります。 持ち物:筆記用具、帽子 ※動きやすい服装でご参加ください。	4/15(日)、5/20(日) 7/15(日)、10/14(日) 11/18(日) 9:00～12:00	申し込み期間 〔3/ 6(火)～4/ 5(木)〕 問い合わせ先:美濃加茂自然史研究会 安藤 26-8385	美濃加茂市内	各回 100円	20名